

アイチコーポレーション

ホイール式（内燃機式）

適用範囲		モデル名		SP10CSN	SP12CSN	SP18A	SP21A
		適用号機		STD	STD	エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車
区分	検査箇所	適用項目	※測定条件、方法	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300	1300	1400
			ハイアイドル	min ⁻¹	2000	2000	1750
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15~0.25	0.15~0.25	0.4
			排気弁	mm	0.15~0.25	0.15~0.25	0.4
		圧縮圧力	Mpa	3.33~3.53	3.33~3.53	3.04	3.04
			(kgf/cm ²)	(34~36)	(34~36)	(31)	(31)
		※回転速度	min ⁻¹	250	250	250	250
			mm	10	10	10	10
		冷却装置	N	98	98	98	98
			(kgf)	(10)	(10)	(10)	(10)
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ
	走行ブレーキ	制動距離	m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間	mm	—	—	—	—
	最低停止保持勾配	°	—	—	—	—	—
作業装置	ブーム	スライディング	上下方向	mm	0.5~1.0	0.5~1.0	0.5~0.9
			左右方向	上側	0.5~0.9	0.5~0.9	1~2
		スライディングパッド	下側	mm	0.5~0.9	0.5~0.9	6~7
			摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	20.6	20.6	20.6
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1300	1300	1400
			高速	min ⁻¹	2000	2000	1750
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22
		油温		℃	40±10	40±10	40±10
		油圧シリンダー	自然降下量	起伏	mm/10min	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2
			平衡装置	mm/10min	2	2	2
		車体傾斜角	前後	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
			左右	°	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5
安全装置	高速走行規制	ブーム姿勢条件		—	起伏10度以上 ブーム全範以外	起伏10度以上 ブーム全範以外	ブーム水平以上 ブーム全範以外
		測定方法	作業範囲規制	—	○	—	—
			モーメントリミッタ	—	—	—	—
		※7		—	—	—	—
総合テスト	測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	40±6	40±6	40±6
			下	s	40±6	40±6	40±6
		伸縮	伸	s	20±5	25±5	35±6
			縮	s	20±5	25±5	35±6
		旋回	右	s	60±9	60±9	80±12
			左	s	60±9	60±9	80±12
		バケット首振	右	s	15±3	15±3	30±5
			左	s	15±3	15±3	30±5
		走行	高	km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.6
			低	km/h	1.8±0.2	1.8±0.2	1±0.2

注)安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウェイトの重量によって異なります。

測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

SP25B								
エンジン型式 4LE2 搭載車								
検査基準値								
1240								
1750								
0.4								
0.4								
3.04 (31)								
250								
10								
98 (10)								
ノーパンクタイヤ								
—								
—								
—								
0.5~0.9								
1~2								
6~7								
2以下								
20.6 (210)								
1240								
1750								
VG22								
40±10								
2								
2								
2								
3.5±0.5								
3.5±0.5								
ブーム水平以上 ブーム全範以外								
○								
—								
50±7								
50±7								
60±9								
60±9								
95±12								
95±12								
25±5								
25±5								
4±0.6								
1±0.2								

アイチコホレーション

測定要領

※1. シリンダー自然降下量 <p>1. ジャッキシリンダー</p> <p>【測定要領】</p> <ol style="list-style-type: none"> 車体を水平堅度土上にセットする。 エンジン停止させる ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 1分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) <p>【判定基準】</p> <p>ジャッキポストのストロークにて 1mm以内／10分</p>	
<p>2. 起伏シリンダー</p> <p>【測定要領】</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを起伏各45°にセットする エンジン停止させる 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 残圧を抜き1分後または5分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する <p>【判定基準】</p> <p>ピストンロッドのストロークにて 2mm以内／10分</p>	
<p>3. 伸縮シリンダー</p> <p>【測定要領】</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを起伏各45°にセットする ブーム長さを1mにセットする エンジン停止させる 第2ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 残圧を抜き1分後または5分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する <p>【判定基準】</p> <p>第2ブームのストロークにて 2mm以内／10分</p>	

<p>※2. 速度測定方法</p> <p>【測定要領】</p> <ol style="list-style-type: none"> 車体を水平堅度土上にセットする。 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する 油温は40±10°Cで行なう <p>1. ブーム起伏速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 	
<p>2. ブーム伸縮速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する 	
<p>3. ブーム旋回速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮、起エンドの状態にする ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する ブーム右旋回、左旋回共に行なう 	
<p>4. 首振り速度</p> <ol style="list-style-type: none"> 首振操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間測定する 首振り右操作、左操作共に行なう 	
<p>5. プラットフォーム旋回速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮、起エンドの状態にする ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する ブーム右旋回、左旋回共に行なう 	

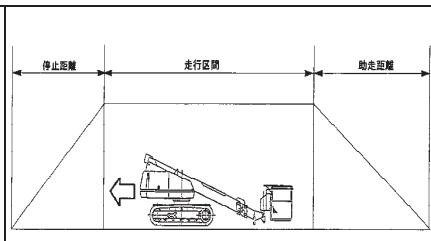
アイチコーポレーション

測定要領

※3. 走行速度測定方法

[測定要領]

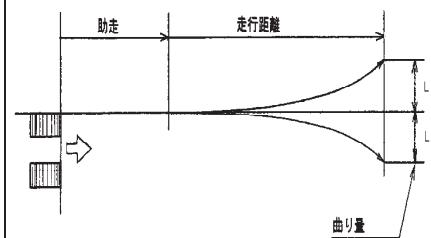
- 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※4. 走行直進性測定方法

[測定要領]

- 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 車両が最大速度になるまで助走させる
- 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する

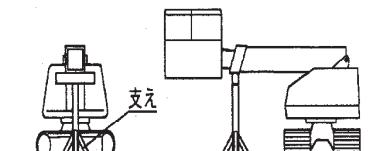
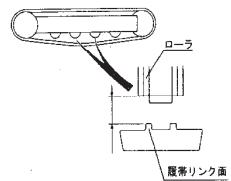


※5. 履帯たわみ測定方法

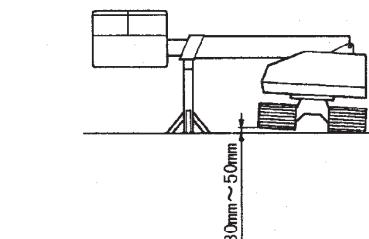
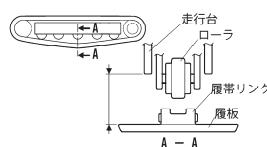
[測定要領]

- 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 第1ブーム先端部に支柱セットする
- ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm～50mm浮かせたたわみ量の測定をする

1. SR10A、SR12B
SR18/21A スペック (AQ*、AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

[検査機器]

- 角度計
- 巻尺
- 重垂
- 水糸

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても
異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX(ブーム全伸長)の他にL-MIN(起伏角水平)があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 車両を水平堅土上にセットする
- ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- ブームの操作は下操作で行なう
- ブーム操作は低速にて行なう
- ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 規定の作業半径(最大許容作業半径)に達しても、ブームの動作が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

